

本会の活動から

平成30年度予防医学事業推進 関東甲信越地区会議を開催

平成30年度予防医学事業推進関東甲信越地区会議（主催 本会）が昨年11月21～22日、東京都千代田区で開催された。

この会議は、予防医学事業中央会傘下の関東甲信越地区10支部から関係者が集まり、事業を推進する上での課題などを照会・協議し、各支部が抱えている問題の解決を目指す場として、毎年、関東甲信越地区支部の持ち回りで開催されている。本年度は本会が担当し、70人が参加した。

開催に当たり、会議の限られた時間を有効活用するため、事前に各支部から課題事項を提出してもら



有用である可能性が高い」と報告した。

もう一つは、「マンモグラフィトモシンセシスに関するアンケート調査」と題し、佐々木みゆきが発表し、アンケート結果から「3Dマンモグラフィへの興味関心が高い」と報告した。

放射線部三科長 富樫聖子

Tokyo健康ウォーク2018に協力

ウォーキングコースを歩きながら、楽しく大腸がんについて学んでいく参加型のイベント「Tokyo健康ウォーク」（主催 東京都、プレイブサークル運営委員会）が昨年11月11日に東京都中野区周辺で開催され、快晴の中、約1700人の市民が参加した。

本会は、会場で行われた40歳以上の希望者を対象とした「無料大腸がん検診」や、啓発コーナーの「肺機能検査」体験に協力。「無料大腸がん検診」では、約800人分の便潜血検査の検体を受け付けた。

また、COPD（慢性閉塞性肺疾患）のリスクをチェックする「肺機能検査」では、本会の臨床検査技師が検査を担当し、ゲストのフィギュアスケーター小塚崇彦さんをはじめ約150人に検査を体験していただいた。



い、その課題に対して各支部から回答を集め、本会議の資料としている。

1日目は、事務局長、事業推進、健診検査の3分科会に分かれ、討議が行われた。

事務局長分科会では、働き方改革やBCP（事業継続計画）の取り組みなど組織全体に係る課題が、事業推進分科会では、効果的な受診勧奨や情報提供など渉外業務に係る課題が、また健診検査分科会では、翼状針の使用状況や検査の方法など健診検査現場における課題が中心に話し合われた。

2日目は、日本医師会運動・健康スポーツ医学委員でもある本会の小堀悦孝健康増進部指導医の「国民が運動したくなる環境の整備と具体的方策」と題した教育講演が行われた他、予防医学事業中央会より健診検査事業の最近の話題が報告された。

最後に、来年度は、ちば県民保健予防財団（千葉県支部）が担当することになり、さらに有意義な会議にしていくことが確認された。

各支部が抱えている問題点を共有し協議することで、課題解決のヒントにしようという本会議の意義が再認識できた2日間であった。

総務部長 前田秀喜

第28回日本乳癌検診学会学術総会で 本会の取り組みをポスター発表

第28回日本乳癌検診学会学術総会（会長 古川康・ふるかわクリニック院長）が昨年11月23～24日、「みなおそう すすめよう 乳がん検診」をメイン

東京都のピンクリボン活動に協力

乳がん月間に当たる昨年10月、全国各地でさまざまな普及啓発活動が行われた。

このうち東京都では、10月28日に「ピンクリボンin東京・町田市2018」が、11月18日に「ピンクリボンin東京・板橋区2018」が開催された。

それぞれのイベントでは、専門医による講演や専門医と乳がん経験者によるトークショーなどが行われた。本会は、来場者向けの啓発コーナーで「肺年齢測定体験」を担当した。

日本人女性の11人に1人がかかるとされる乳がんだが、早期に発見し治療すれば90%は治る病気でもある。このため国では、40歳以上の女性に2年に1回の乳がん検診受診を推奨している。

その他の活動

○第42回日本鉄バイオサイエンス学会が昨年9月1～2日、石川県北郡で開催され、本会はファンケルとともに「唾液フェリチン検査の有用性評価試験」の結果を報告した。本会からは学校保健部課長の高橋政道が参加した。（関連記事P14）

○第78回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会が9月2日、「消化器がん検診の裾野を広げる」をテーマに栃木県宇都宮市で開催され、放射線部の職員2人が参加した。

○第26回日本がん検診診断学会が9月7～8日、「今、社会が求めるがん検診のかたち」をテーマに東京都



テーマに大阪府大阪市で開催され、がん検診・診断部長の坂佳奈子の他、職員4人が参加した。

本学術総会では、高濃度乳房の問題、職域のがん検診、過剰診断、超音波検査との総合判定など、乳がん検診が直面している課題を解決すべく、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ、口演、ポスターでさまざまな視点から討論が行われ、どの会場も立ち見が出るほどの盛況であった。

本会の放射線部では2題のポスター発表を行った。一つは、「任意型検診におけるマンモグラフィトモシンセシスを用いた乳がん検診成績」と題し、筆者が発表した。

本会ではマンモグラフィトモシンセシス（以下、3D）装置を2017年5月に導入し、任意型検診の一部で通常のマンモグラフィ（以下、2D）に3Dを加えて撮影を行っている。2017年度の任意型検診を対象に、2Dのみの群と2Dに3Dを併用した群で、乳がん検診成績と発見乳がんの特徴を比較検討した。

検診成績は、3Dを併用した群では、要精検率が低下、乳がん発見率、陽性反応適中度の向上がみられた。また、発見乳がんの特徴では、3Dを併用した群で、腫瘍や構築の乱れで発見されるものが多く、浸潤がんが多かったことなどから、今回の研究では、「任意型検診において3Dを併用した乳がん検診は

千代田区で開催され、理事長の小野良樹、健康支援センター長の金子昌弘、検査研究センター長の木口一成、細胞病理診断部長の久布白兼行、がん検診・診断部長の坂佳奈子が参加した。パネルディスカッションでは、坂佳奈子が「マンモグラフィ検診における高濃度乳房問題について」と題して講演した。

○第27回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会が9月8～9日、「婦人科検診受検率の向上のために——新しいブランドデザインを考える」をテーマに東京都板橋区で開催され、検査研究センター長の木口一成、細胞病理診断部長の久布白兼行、地域保健部長の黒澤幸男と職員1人が参加した。ランチョンセミナー「子宮頸がんの進行と適切なHPV検査の選択を考える」では久布白兼行が座長を務めた。

○第44回重点卒後教育セミナーが9月9日、「次世代に向けた下部消化管内視鏡診療」をテーマに東京都中央区で開催され、消化器診断部長の川崎成郎が参加した。

○第60回日本婦人科腫瘍学会学術講演会と第17回国際婦人科癌学会（IGCS 2018）が9月14～16日、京都府京都市で「婦人科がん脆弱性を標的とした治療戦略の確立——基礎・TR・臨床の統合」をテーマに同時開催された。本会からは検査研究センター長の木口一成と細胞病理診断部長の久布白兼行が参加した。

○上級救命講習（主催 東京消防庁）が9月18日、東京都千代田区の麹町消防署で開催され、健康増進部の健康運動指導士が参加した。

○第7回日本タバコフリー学会学術大会が9月23日、「加熱式タバコとハーム・リダクション理論の危険性」をテーマに兵庫県西宮市で開催され、健康支援センター長の金子昌弘が参加。ランチョンセミナーで座

長を務めた他、一般演題で「当協会における職員喫煙状況について——全職員の禁煙化をめざして」と題して発表した。

○第41回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会が10月7～8日、「カタチを読む」をテーマに大阪府大阪市で開催され、がん検診・診断部長の坂佳奈子が参加。教育セミナーで「検診での要精査基準——主に精査不要にすべき所見」と題して講演した。

○第63回予防医学事業推進全国大会が10月26日、「子どもたちの元気と地域の元気が日本の未来を切り開く」をテーマに新潟県新潟市で開催され、理事長の小野良樹、専務理事の小川昇、健康増進部長の菅原哲也の他、予防医学事業中央会奨励賞を受賞した職員2人が参加した。

○平成30年度全国学校保健安全研究会及び第49回全国学校保健・学校医大会が10月25～27日、鹿児島県鹿児島市で開催され、理事の阿部勝巳と学校保健部課長の高橋政道が参加した。

○日本超音波医学会第30回関東甲信越地方学術集会が10月27～28日、東京都千代田区で開催され、検診検査部の大場由里加が「検診腹部超音波にて発見した浸潤性膵管癌 (stage TA) の1切除例」、小澤利奈が「検診腹部超音波検査にて発見した膵充実性偽乳頭状腫瘍 (SPN) の1切除例」と題して発表した。

○第26回日本消化器関連学会週間 (JDDW 2018) (主催 日本消化器関連学会機構) が11月1～4日、兵庫県神戸市で開催され、理事長の小野良樹と消化器診断部長の川崎成郎の他、放射線部の職員1人が参加した。
○第60回日本先天代謝異常学会・第16回アジア先天代謝異常症シンポジウムが11月8～10日、「先天代

謝異常症をもっと語ろう」をテーマに岐阜県岐阜市で開催され、母子保健検査部の職員1人が参加した。
○第52回日本側彎症学会学術集会が11月2～3日、「不易流行——脊柱変形治療の不变の本質を学び時代に即した診療体系を創造する」をテーマに東京都港区で開催され、学校保健部課長の高橋政道と韓宗玄の他、職員1人が参加した。
○第57回日本臨床細胞学会秋季大会が11月17～18日、「Modern cytology」をテーマに神奈川県横浜市で開催され、検査研究センター長の木口一成の他、職員3人が参加した。

人・往来

東海大学の学生の統合実習に協力

東海大学健康科学部看護学科では、公衆衛生看護学に関する統合実習を行っている。本会はその実習に協力し、10月10日、学生11人を受け入れた。

台湾の健診機関の研修団が本会を訪問

10月22日に、台湾の中華民国衛生保健基金會と中華民国寄蟲虫防治會の合同研修団10人が本会を訪れた。一行は、理事の阿部勝巳から本会事業について説明を受けた後、検査研究棟で、新生児マススクリーニングや細胞診、尿検査などを見学した。

産業医科大学の学生の現場実習に協力

産業医科大学では、5年生を対象に産業医学現場実習を行っている。本会はその実習に協力し、11月12～16日の5日間、医学生2人を受け入れた。

小児健康相談室のご案内

検診で異常を指摘された子どもを対象に、専門医によるフォローアップを行っています

学校検診で異常を指摘されたけれど、近くに専門医がない。軽微な異常で治療は必要ないけれど、定期的な経過観察は必要。「小児健康相談室」では、そうした子どもたちを対象として、専門医による経過観察、生活指導を行っています。

検査や診断には費用がかかります(保険診療)。本会で学校検診を受けた方は、検査・検診時のデータを用いて診療や相談が可能です。

前田美穂先生による
『貧血電話相談室』
養護教諭・保健師・看護師からの相談をお受けします(無料)
開催日：第1水曜日 14時半～15時半



	腎臓病	心臓病	貧血	脊柱側弯症	肥満・コレステロール	思春期やせ症
担当医	村上陸美 日本医科大学 名誉教授	浅井利夫 東京女子医科大学 名誉教授	前田美穂 日本医科大学 名誉教授	南昌平 聖隷佐倉市民病院名誉院長 磯辺啓二郎 元千葉大学教授	岡田知雄 神奈川工科大学 応用バイオ科学部教授	鈴木眞理 政策研究大学院大学 教授
外来日	第3木曜日 午前	第1木曜日 午後	第1水曜日 午後	第2月曜日 午後 第4水曜日 午後	第3水曜日 午後	第1金曜日 午後

問い合わせ・申し込み 公益財団法人 東京都予防医学協会 学校保健部 ☎03-3269-1131
東京都新宿区市谷砂土原町1-2

Information

第283回ヘルスケア研修会

保健指導の成果があがらない人たちとどう向き合うか

日時 1月30日(水) 14時~16時

会場 千代田区・「星陵会館」2階ホール

演題 保健指導の成果があがらない人たちとどう向き合うか
——医療における二人称的参画について考えてみよう

講師 岩田 誠氏 東京女子医科大学名誉教授

●参加費 2,000円

●申込不要 ●定員 300人(先着順)

問い合わせ 東京都予防医学協会 広報室
☎03-3269-1131 内線2241、2242

第255回学校保健セミナー

子どものネット・ゲーム依存

日時 2月22日(金) 15時~17時

会場 新宿区・「ホテルグランドヒル市ヶ谷」3F瑠璃

演題 子どものネット・ゲーム依存

講師 樋口 進氏 国立病院機構久里浜医療センター院長

●対象 養護教諭・学校関係者 ●参加費 無料

●申込不要 ●定員 200人(先着順)

問い合わせ 東京都予防医学協会 学校保健部
☎03-3269-1131

第256回学校保健セミナー

新しい小児肥満症診断基準と健診への応用

日時 3月12日(火) 15時~17時

会場 新宿区・「ホテルグランドヒル市ヶ谷」3F瑠璃

演題 新しい小児肥満症診断基準と健診への応用

講師 原 光彦氏 東京家政学院大学教授

●対象 養護教諭・学校関係者 ●参加費 無料

●申込不要 ●定員 200人(先着順)

問い合わせ 東京都予防医学協会 学校保健部
☎03-3269-1131

第284回ヘルスケア研修会

がんばらない、あきらめない 内臓脂肪減量法

日時 3月27日(水) 14時~16時

会場 千代田区・「星陵会館」2階ホール

演題 がんばらない、あきらめない内臓脂肪減量法
——はらすまダイエットの今

講師 中川 徹氏 日立製作所日立健康管理センタ副センタ長

●参加費 2,000円

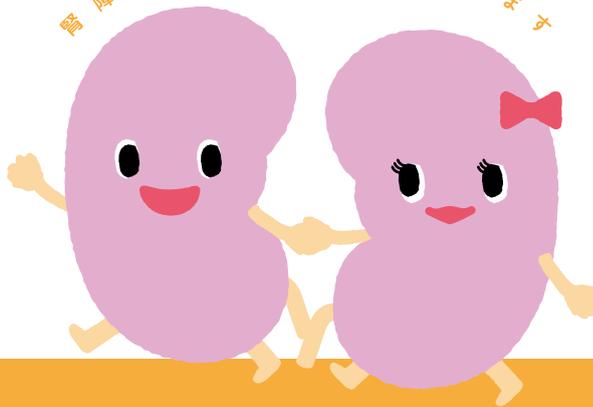
●申込不要 ●定員 300人(先着順)

問い合わせ 東京都予防医学協会 広報室
☎03-3269-1131 内線2241、2242

norudia
No Diabetes

腎障害の早期判別に貢献します

ずっと一緒に
いたいたから。



SEKISUI

体外診断用医薬品
認証番号 226ADAMX00212000

健保適用

尿中ヒトL型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)測定用

ノルディア® L-FABP

新しい視点で、腎障害を早期にキャッチ!

ヒトL型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)は、
腎組織が破綻する前に出てくる早期警報です。



特長

- ① 試薬の調製が不要な液状試薬です。
- ② 各種自動分析装置への適用が可能です。

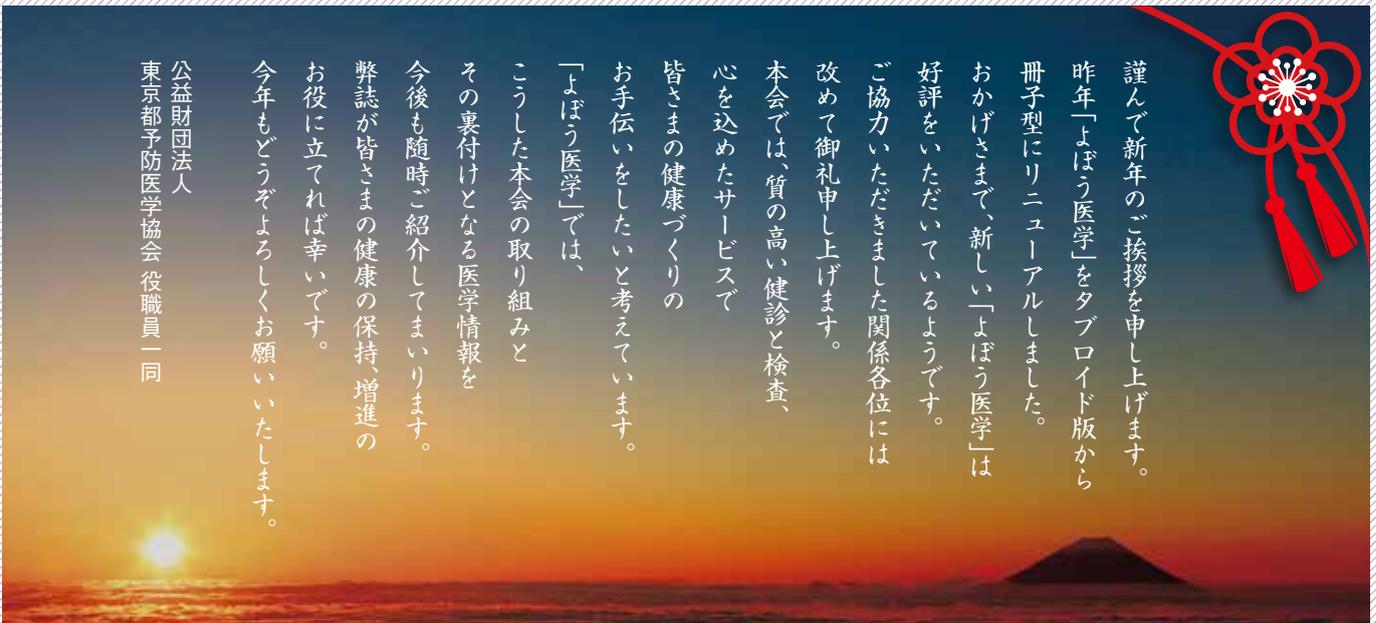
製造販売元 **積水メディカル株式会社**

本社：〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目1番3号 TEL 03(3272)0681(代表)
ホームページアドレス：<http://www.sekisui-medical.jp>



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
 昨年「よぼう医学」をタブロイド版から
 冊子型にリニューアルしました。
 おかげさまで、新しい「よぼう医学」は
 好評をいただいているようです。
 ご協力いただきました関係各位には
 改めて御礼申し上げます。
 本会では、質の高い健診と検査、
 心を込めたサービスで
 皆さまの健康づくりの
 お手伝いをしたいと考えています。
 「よぼう医学」では、
 こうした本会の取り組みと
 その裏付けとなる医学情報を
 今後も随時ご紹介してまいります。
 弊誌が皆さまの健康の保持、増進の
 お役に立てれば幸いです。
 今年もどうぞよろしくお願いたします。

公益財団法人
 東京都予防医学協会 役員員一同



●個人情報の取扱いについて

日頃より、公益財団法人東京都予防医学協会の機関誌「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。



本会では、「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報（氏名、住所、所属、役職など）を送付名簿として保持しております。

これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理の下に運用しております。送付名簿からの削除や変更を希望される場合には、お手数ですが、下記広報室までご連絡ください。

●送付先の変更・送付中止について

送付先の変更・送付中止を希望される場合には、広報室までお知らせください。

Eメール koho@yobouigaku-tokyo.jp
 F A X 03-3269-7562
 T E L 03-3269-1131



健康管理コンサルタントセンター
 コンサルテーションのご案内

健康管理相談を
 お引き受けします

健康管理コンサルタントセンターの幹事である医師が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします（予約制・無料）。

お問い合わせ・
 お申し込みは事務局まで

健康管理コンサルタントセンター 事務局

東京都新宿区市谷砂土原町1-2
 公益財団法人東京都予防医学協会 広報室
 TEL 03-3269-1131 内線2241、2242

あなたの健康づくりを全力サポート!

よぼう医学



2019 WINTER 新年号 No.03
 2019年1月15日発行 通巻第531号

- 発行人 小野良樹
- 発行所 公益財団法人東京都予防医学協会
 〒162-8402 東京都新宿区市谷砂土原町1-2
 TEL : 03-3269-1121
 FAX : 03-3260-6900
 URL : <https://www.yobouigaku-tokyo.or.jp>
- 企画 広報企画委員会
- 編集 広報室
- デザイン 大谷達也(有限会社アイル企画)
- 印刷 大日本印刷株式会社

●『よぼう医学』は本会ホームページ(<https://www.yobouigaku-tokyo.or.jp/>)からもご覧いただけます。

※本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載をお断りします。



HITACHI
Inspire the Next

一足先に未来のカタチに。

「ESPACIO AVANT」は先進のX線検出器「FPD」を採用。車載でありながら、医療機関などで使われるX線システムと同等のX線透視・撮影パフォーマンスをいち早く実現しました。「検診」の未来を一足先にカタチにしたのは、日立の技術です。

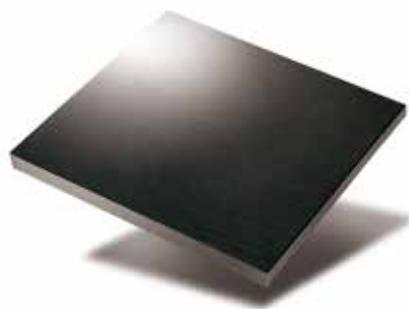
ESPACIO AVANT

胃部集団検診X線システム



省スペース化 FPDシステムを採用

ワイドレンジで歪みや感度ムラのない画像を
描出する薄型・軽量のFPD(Flat Panel
Detector)を採用。コンパクトでありながら
高画質な透視・撮影画像を提供します。



販売名:胃部集団検診X線システム ESPACIO AVANT 医療機器認証番号:229ABBZX00014000

株式会社 日立製作所 www.hitachi.co.jp/healthcare

新画像処理エンジン

FAiCE-V NEXT STAGE1+

FAiCE-V NEXT STAGE1+ 搭載

日立独自の画像処理エンジンが、高画質化と低被ばくを実現。視認性の
向上と細部の明瞭化など、透視画像を高精細に描き出します。

Innovating Healthcare, Embracing the Future